

(電子メール施行)  
農技第 1765 号  
令和4年 3月 18日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

令和3年度病虫害発生予報第8号を發表します。

令和3年度病虫害発生予報 第8号

向こう1か月の病虫害発生予想

| 作物名   | 病虫害名    | 発生予想       | 発生現況       |
|-------|---------|------------|------------|
| トマト   | 疫病      | やや少        | 少          |
|       | 灰色かび病   | 平年並        | やや少        |
|       | 葉かび病    | やや少        | 少          |
|       | コナジラミ類  | <b>やや多</b> | やや少        |
|       | アブラムシ類  | 平年並        | やや少        |
| 春キャベツ | 黒腐病     | やや少        | 少          |
|       | 菌核病     | 平年並        | やや少        |
|       | アブラムシ類  | 平年並        | 少          |
|       | モンシロチョウ | 平年並        | 少          |
|       | コナガ     | 平年並        | 少          |
|       | ヨトウガ    | 平年並        | 少          |
| タマネギ  | 白色疫病    | やや少        | 少          |
|       | 細菌性病害   | 平年並        | やや少        |
|       | べと病     | 平年並        | やや少        |
|       | 灰色腐敗病   | やや少        | 少          |
|       | ネギアザミウマ | <b>やや多</b> | 平年並        |
| 春レタス  | 灰色かび病   | 平年並        | 少          |
|       | 菌核病     | <b>やや多</b> | やや少        |
| イチゴ   | 灰色かび病   | 平年並        | やや少        |
|       | うどんこ病   | <b>やや多</b> | <b>やや多</b> |
|       | アブラムシ類  | 平年並        | 少          |
|       | ハダニ類    | 平年並        | やや少        |
|       | アザミウマ類  | 平年並        | やや少        |

\* 気象の概況

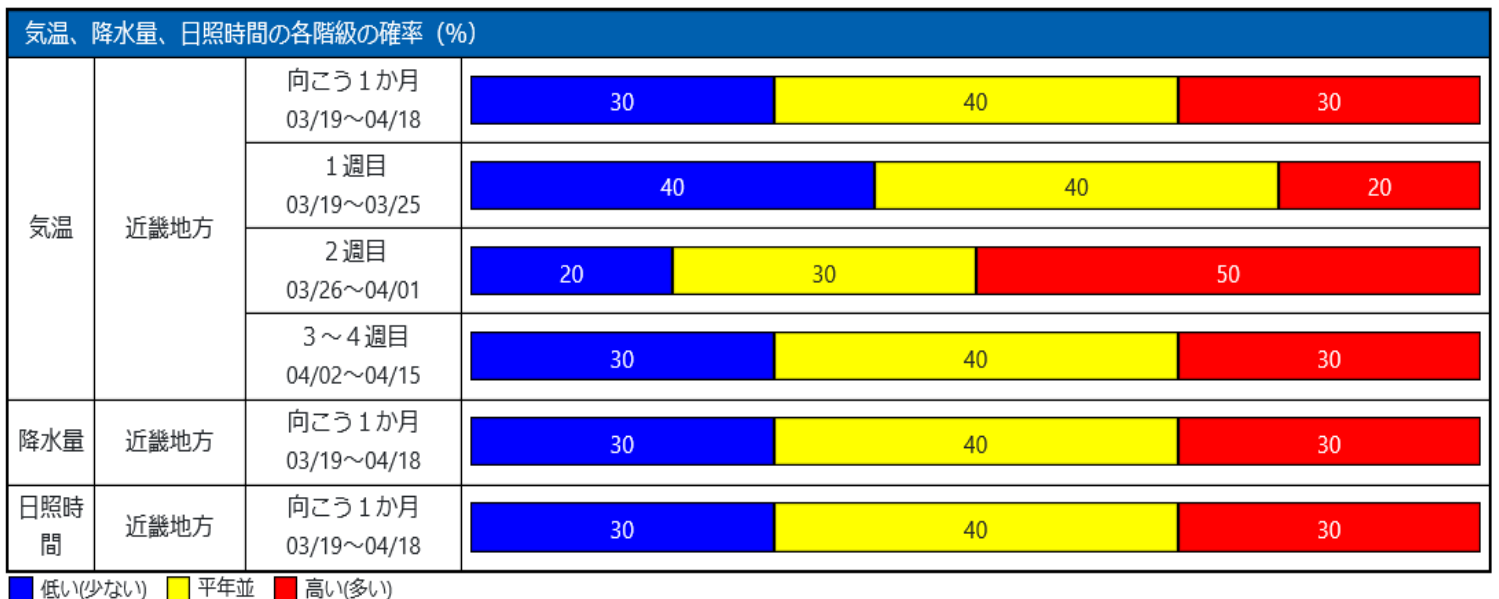
近畿地方 1か月予報

(3月19日から4月18日までの天候見通し)

令和4年3月17日  
大阪管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

| 近畿地方 1か月予報(03/19~04/18)      |                       |  |
|------------------------------|-----------------------|--|
| 2022年03月17日14時30分 大阪管区气象台 発表 |                       |  |
| 特に注意を要する事項                   | 期間の前半は気温の変動が大きい見込みです。 |  |
| 向こう1か月<br>03/19~04/18        | 天候                    | 近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 |
| 1週目<br>03/19~03/25           | 気温                    | 1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。   |
| 2週目<br>03/26~04/01           | 気温                    | 2週目は、高い確率50%です。  |



\* 発生概況及び防除対策上の留意点

## トマト

### 1 【疫病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、降水量は平年並と予想されている。施設内は多湿条件になりやすく本病の発生に助長的であるが、現時点で発生は確認されていないことから、今後はやや少ない発生になると考えられる。

### 2 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 2月下旬の現地圃場<sup>ほ</sup>でわずかに発生が確認されている。
- イ 今後の1か月予報によると、降水量は平年並と予想されており、施設内は多湿条件になりやすく発病が助長され、今後は平年並の発生になると考えられる。

### 3 【葉かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、降水量は平年並と予想されている。施設内は多湿条件になりやすく本病の発生に助長的であるが、現時点で発生は確認されていないことから、今後はやや少ない発生になると考えられる。

### 4 【コナジラミ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
- (2) 予報の根拠
- ア 2月下旬の現地圃場で発生が確認されている。また、同時期の場内（加西市）トマトハウスでも発生が確認されている。
- イ コナジラミ類は、例年3月以降気温の上昇とともに増殖する。今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、本種の増殖に好適な条件が続き、やや多い発生になると考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア 施設開口部からの成虫の侵入を防止する。0.4mm以下の目合いの製品を用いると侵入防止効果が高い。
- イ 薬剤散布にあたっては、薬液が葉裏に十分かかるようにして散布ムラが生じないようにする。
- ウ 防除薬剤は、病虫害・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守ること。

## 5 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2月の場内（加西市）トマトハウスでわずかに発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、本種の増殖に好適な条件が続き、平年並の発生になると考えられる。

## 春キャベツ

### 1 【黒腐病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されており、発病が助長され、本病の発生が見られるようになると考えられる。

### 2 【菌核病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2月上旬の現地圃場、3月上旬の場内圃場（南あわじ市）でわずかに発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されており、発病が助長され、平年並の発生になると考えられる。

### 3 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。

イ 本種は例年春期以降に発生があり、今後発生がみられると思われる。今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、本種の増殖に好適な条件が続き、平年並の発生になると考えられる。

### 4 【モンシロチョウ】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。

イ 本種は蛹で越冬しており、例年3月中旬頃から成虫の発生がみられる。今後の

1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、成虫の発生に伴い、幼虫の発生がみられるようになると考えられる。

## 5 【コナガ】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。

イ 本種は例年春期以降に発生があり、今後発生がみられると思われる。今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、本種の増殖に好適な条件が続き、平年並の発生になると考えられる。

## 6 【ヨトウガ】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。

イ 本種は蛹で越冬しており、例年4月下旬以降に成虫の発生がみられ、春野菜に産卵する。今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、本種の活動が活発になるに伴い、幼虫の発生が増えると考えられる。

# タマネギ

## 1 【白色疫病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されており、発病が助長され、本病の発生がみられるようになると考えられる。

## 2 【細菌性病害】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2、3月の場内圃場（加西市、南あわじ市）では発生は確認されていないが、3月上旬の現地圃場では発生圃場率3.81%（前年同期：5.71%）とやや少ない発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されており、発病が助長され、平年並の発生になると考えられる。

## 3 【べと病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の場内圃場（南あわじ市）では発病株率0.5%（前年同期：2.0%）、同時

期の現地圃場では発生圃場率0.32%（同1.59%）とやや少ない発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されており、発病が助長され、平年並の発生になると考えられる。

#### 4 【灰色腐敗病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されており、発病が助長され、本病の発生が見られるようになると考えられる。

#### 5 【ネギアザミウマ】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の場内圃場（加西市）では成虫49頭/25株（平年値29.3頭）、幼虫4頭/25株（同28.1頭）、同時期の現地圃場では発生圃場率16.7%（前年同期：28.1%）の発生が確認されている。

イ 3月上旬に現地圃場から採集した本種のアイリス黄斑ウイルス（IYSV）保毒虫検定では、3圃場中1圃場で保毒虫の発生が確認された。

ウ 今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、本種の増殖に好適な条件が続き、やや多い発生になると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 本種は、タマネギえそ条斑病の病原であるアイリス黄斑ウイルス（IYSV）を媒介することが知られている。今後、本種の活動が活発になることに伴って、IYSVを新たに獲得・媒介する機会が増え、タマネギえそ条斑病の発生につながる恐れがあるため、多発しないように努める。

イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守る。また、感受性低下を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。

病害虫・雑草防除指導指針

(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

ウ 圃場内外の雑草や収穫後の残渣は、本種の増殖源やIYSVの感染源になるので、除草や残渣処分を徹底する。

## 春レタス

#### 1 【灰色かび病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の場内圃場（南あわじ市）ではわずかに発生が確認されている。同時期の現地圃場では発病株率0.6%（前年同期：0.6%）の発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されており、発病が助長され、平年並の発生になると考えられる。

## 2 【菌核病】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の場内圃場（南あわじ市）で発病は確認されていないが、2月の現地圃場では発病株率0.3%（前年同期：0.1%）と前年並の発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されており、発病が助長され、やや多い発生になると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 発病株は早期に発見し、菌核が形成される前に抜き取って圃場外で処分する。発病が認められた圃場では二次感染が懸念されるので、薬剤散布を実施する。

イ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、感受性低下を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。

病虫害・雑草防除指導指針

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

## イチゴ

### 1 【灰色かび病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の現地圃場で発病株率6.0%（前年同期：12.0%）、発生圃場率50.0%（同：75.0%）とやや少ない発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されている。施設内は高温多湿になりやすく、発病が助長され、平年並の発生になると考えられる。

### 2 【うどんこ病】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の現地圃場で発病株率6.0%（前年同期：3.0%）、発生圃場率75.0%（同25.0%）とやや多い発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温、降水量ともに平年並と予想されているため、やや多い状態のまま推移すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 防除は予防に重点を置く。発病を認めた時は、散布間隔を短くして集中的に散布する。発病果は有力な伝染源となるので速やかに除去する。薬剤散布を行う場合は、薬液が葉裏や未展開葉のすき間に届くように行うこと。

イ 薬剤防除を行う場合は、病虫害・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、感受性低下を避けるために

同系統の薬剤の連用は控える。

病害虫・雑草防除指導指針

(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

### 3 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量： 平年並  
(2) 予報の根拠

ア 2、3月の調査で発生は確認されていない。

イ 本種は例年3月に発生がみられており、施設内はアブラムシ類にとって好適な高温条件になりやすいことに加えて、今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、平年並の発生になると考えられる。

### 4 【ハダニ類】

- (1) 予報の内容 発生量： 平年並  
(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の現地圃場では発生は確認されていないが、同時期の場内圃場（加西市）でわずかに発生が確認されている。

イ 施設内はハダニ類に好適な高温条件になりやすいことに加えて、今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、増殖が進み平年並の発生になると考えられる。

### 5 【アザミウマ類】

- (1) 予報の内容 発生量： 平年並  
(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の現地圃場では発生は確認されていないが、同時期の場内圃場（加西市）でわずかに発生が確認されている。

イ 施設内はアザミウマ類に好適な高温条件になりやすいことに加えて、今後の1か月予報によると、気温は平年並と予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、増殖が進み平年並の発生になると考えられる。

**\* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載**

(<http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

2022年3月1日より「兵庫県病害虫防除所」Twitterを開設しました！  
発生予察情報など病害虫に関する情報を提供しますので、是非フォローお願いします。

Twitterアカウント([http://twitter.com/hyogo\\_boujoshou](http://twitter.com/hyogo_boujoshou))

